

令和2年度(2020年度) 流通体制に関するアンケート調査結果

【アンケート調査の概要】

- * 調査方法 会員会社への Mail 送信による聞き取り調査
- * 調査期間 2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日
- * 調査期日 2021 年 7 月 31 日
- * 提出会社 39 社中 39 社(提出率:100%)

【前提条件】

- 会員各社の決算月が異なりますが、アンケートは直近 2 期分の決算の数字でご返答下さい。例えば 3 月決算の会社は 2020 年 3 月度決算と 2021 年 3 月度決算の数字を、12 月決算の会社は 2019 年 12 月度決算と 2020 年 12 月度決算の数字をご記入下さい。
- 吸収合併など集計に影響を及ぼすと考えられる事項があった場合は、備考欄にご記入下さい。
- 対象品目は承認品目とし、販売のみの製品は除いて下さい。また、原薬の販売や受託加工賃は含めず、あくまでも医療用医薬品の最終製品の売上高のみをご記入下さい(* 質問 4 については全販売品目を対象としてご回答願います)。

.....調査結果.....

【質問1】御社の医療用医薬品の販売金額と構成比をご記入下さい。

- 「A. ジェネリック医薬品(後発医薬品)」は、「診療報酬上の後発医薬品」(日本薬局方における「診療報酬上の後発医薬品」は含み、昭和 42 年 9 月末日以前承認品目は除く)を対象として下さい。
- 「B. 先発医薬品」については、上記に該当しない医療用医薬品の売上をご記入下さい。

表. 販売金額と構成比

	1期前の決算 (億円)	構成比 (%)	直近の決算 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
A. ジェネリック医薬品 (後発医薬品)	6,511	88.2%	6,805	87.8%	4.5%
B. 先発医薬品、その他	873	11.8%	948	12.2%	8.6%
医療用医薬品 合計	7,384	100.0%	7,753	100.0%	5.0%

回答社数:35 社(未回答 4 社) ※未回答には医療用医薬品の合計のみを開示した 1 社を含む

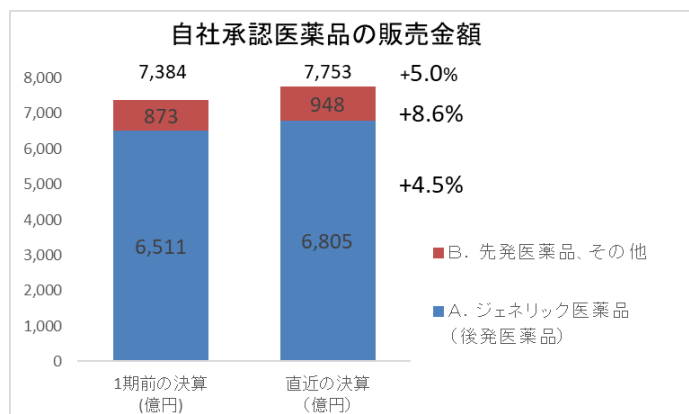


表. 医療用医薬品の売上規模

医療用医薬品の売上規模	1期前の決算	直近の決算
1000億円超	3	3
800億～1000億円	0	0
600億～800億円	1	1
500億～600億円	0	0
400億～500億円	0	0
300億～400億円	1	1
200億～300億円	5	5
100億～200億円	2	4
50～100億円	6	4
0-50億円	18	18
未回答	3	3
	39	39

表. GE 医薬品の売上規模

GE医薬品の売上規模	1期前の決算	直近の決算
1000億円超	2	3
800億～1000億円	1	0
600億～800億円	1	1
500億～600億円	0	0
400億～500億円	0	0
300億～400億円	0	0
200億～300億円	2	2
100億～200億円	4	4
50～100億円	5	6
0-50億円	20	19
未回答	4	4
	39	39

※未回答には医療用医薬品の合計のみを開示した1社を含む

【コメント】

回答のあった36社の医療用医薬品の売上の合計は7,753億円、そのうちジェネリック医薬品の売上高は6,805億円で（回答35社）、前年度からの伸長は+4.5%であった（販売額ベース）。先発医薬品の構成比は12.2%で前回調査の10.3%より伸長した。

経営統合による売上増加も1社見られた。

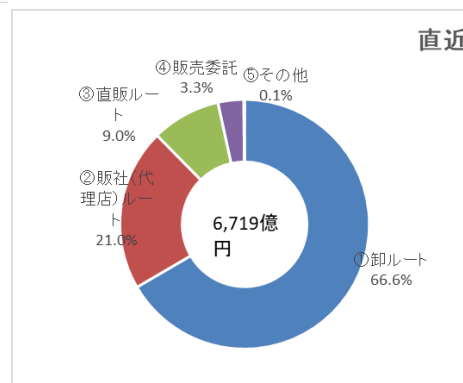
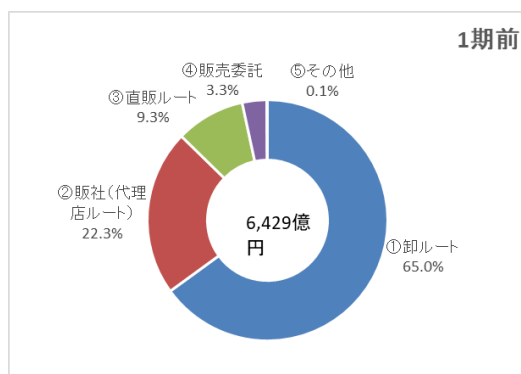
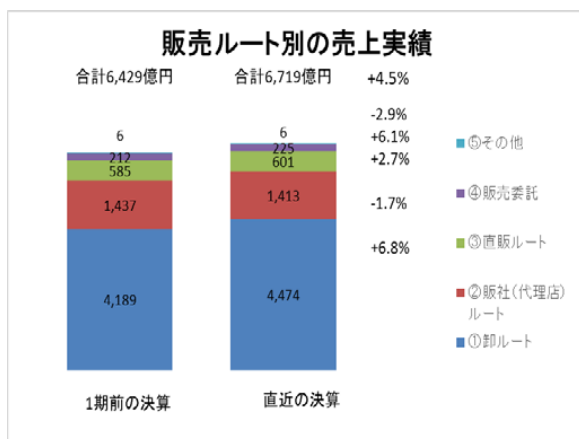
【質問2】質問1の「A. ジェネリック医薬品（後発医薬品）」について、ルート別年間売上と構成比をご記入下さい。

○ 「A. ジェネリック医薬品（後発医薬品）」の金額が、以下の合計と等しくなるよう記載下さい。

表. ルート別年間売上

	1期前の決算 金額（億円）	構成比 （%）	直近の決算 金額（億円）	構成比 （%）	前期比
① 卸ルート	4,189	65.2%	4,474	66.6%	6.8%
② 販社（代理店）ルート	1,437	22.3%	1,413	21.0%	-1.7%
③ 直販ルート	585	9.1%	601	9.0%	2.7%
小計（①+②+③）	6,211	96.6%	6,488	96.6%	4.5%
④ 販売委託	212	3.3%	225	3.3%	6.1%
⑤ その他	6	0.1%	6	0.1%	-2.9%
販売ルート合計 （①+②+③+④+⑤）	6,429	100.0%	6,719	100.0%	4.5%

回答社数: 33 社 (未回答 6 社)



【コメント】

回答のあった 33 社のジェネリック医薬品の売上は、卸ルートで 6.8%伸長し、直近の卸ルートの構成比は 66.6%となった。前回調査でマイナスだった直販ルート、販売委託がプラスに転じた。

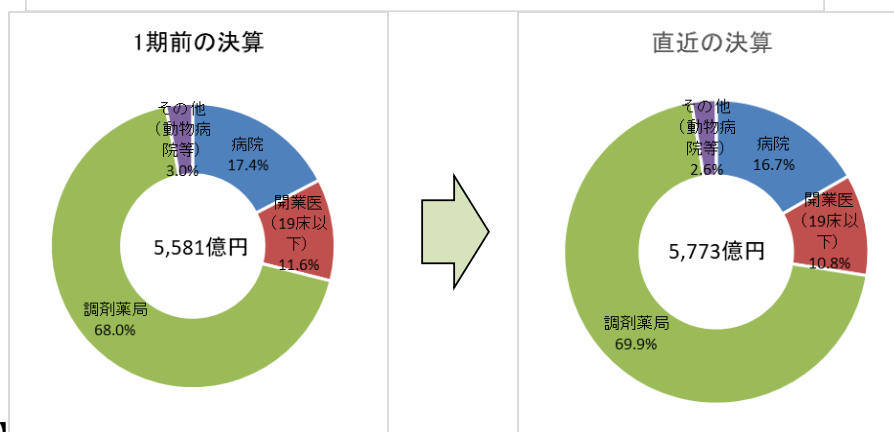
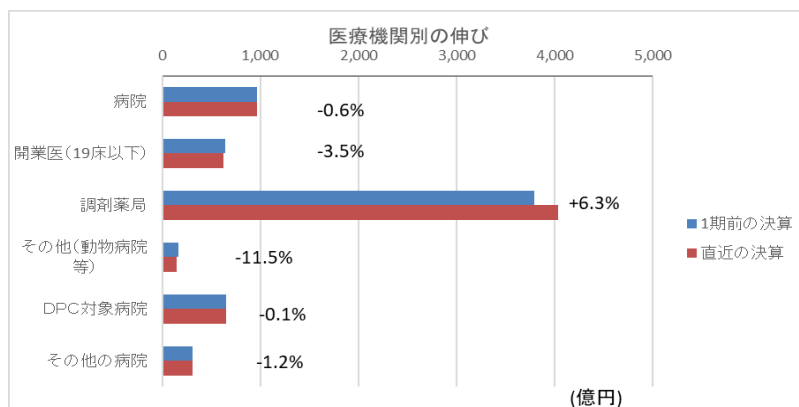
【質問3】施設別取引高と構成比をご記入ください（＊質問2で①～③に売上があった会社のみ）。

- 各社で把握しているもののみを記載して下さい（電子化データ未入手などの理由により集計ができない場合は「未集計」に記載下さい）
- 病院の売上（①DPC対象病院／②その他の病院）については、任意の記載事項とさせていただきます。
- 質問2の「小計」が、以下の「医療機関 合計」と等しくなるよう記載下さい。

表. 施設別取引高と構成比

	1期前の決算		直近の決算		前期比
	金額(億円)	構成比(%)	金額(億円)	構成比(%)	
病院	970	17.4%	964	16.7%	-0.6%
参考 DPC対象病院（準備病院を含む）	649	11.6%	649	11.2%	-0.1%
参考 その他の病院	312	5.6%	308	5.3%	-1.2%
開業医(19床以下)	645	11.6%	623	10.8%	-3.4%
調剤薬局	3,796	68.0%	4,035	69.9%	6.3%
その他(動物病院等)	170	3.0%	151	2.6%	-11.1%
医療機関 合計	5,581	100.0%	5,773	100.0%	3.4%

回答社数: 17社(非開示、未集計先は除く)



【コメント】

金額、構成比ともに大きい調剤薬局のみが6.3%伸び、直近の構成比が約70%となった。病院、開業ともに微減となった。

【質問 4】卸業者との取引についてご記入下さい。(2021 年 3 月 31 日現在)

＜卸/販社との取引の有無＞

	自社販路を 持つメーカー数	取引あり	取引率
メディパルHD	31	27	87%
スズケングループ		27	87%
アルフレッサHD		27	87%
東邦HD		27	87%
バイタルケーエスケーHD		27	87%
販社		24	77%

【コメント】

全面的に販売委託している会社の回答については除いた。

自社販路の多くが卸チャネルを活用しており、また 77%の会社は販社のチャネルを活用している。

【質問 5】緊急配送体制についてお伺いします(* 質問 2 で①～②に売上があった会社のみ)。

2020 年度中に要請があった件数、対応できた件数をご記入ください。

実際に緊急出荷の依頼を受けた企業	15
依頼に対応した企業	15(100%)
実際に緊急出荷の依頼を受けた件数	1,537
依頼に対応できた件数	1,537 (100%)

【コメント】

実際に依頼を受けた 15 社については、集計期間中に緊急出荷依頼のあった件数の 100%に対応ができたとの報告があった。

【質問6】2021年3月末に向け、販売包装単位、および元梱包装単位への変動情報を含むバーコードの付与が原則化されております。御社の状況について下記の表に記載ください。

- 2021年3月末現在の状況をお答えください。
- 委託製造を含む全アイテム、そのうち自社製造分についてそれぞれご記入をお願いします。

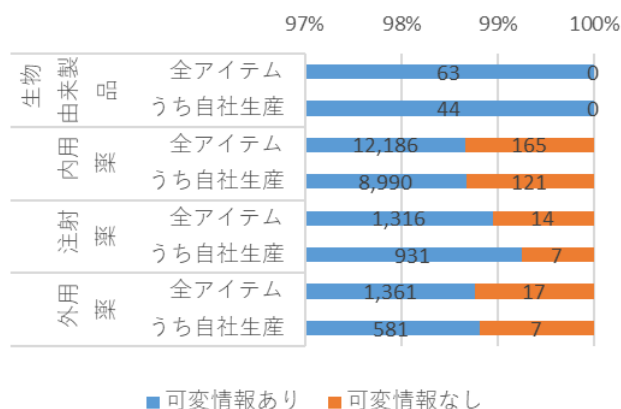
1)調剤包装単位

区 分		アイテム数	新バーコード表示数		
			商品コード	有効期限	製造番号又は製造記号
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0	0
	うち自社生産	0	0	0	0
生物由来製品 (特定生物由来製品を除く)	全アイテム	62	62	6	6
	うち自社生産	43	43	3	3
内用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	9,387	9,387	144	144
	うち自社生産	6,782	6,782	122	122
注射薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,269	1,269	8	8
	うち自社生産	880	880	0	0
外用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,190	1,190	118	118
	うち自社生産	511	511	71	71

2)販売包装単位

区 分		アイテム数	新バーコード表示数		
			商品コード	有効期限	製造番号又は製造記号
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0	0
	うち自社生産	0	0	0	0
生物由来製品 (特定生物由来製品を除く)	全アイテム	63	63	63	63
	うち自社生産	44	44	44	44
内用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	12,351	12,310	12,186	12,186
	うち自社生産	9,111	9,090	8,990	8,990
注射薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,330	1,329	1,316	1,316
	うち自社生産	938	937	931	931
外用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,378	1,373	1,361	1,361
	うち自社生産	588	587	581	581

販売包装単位（有効期限）

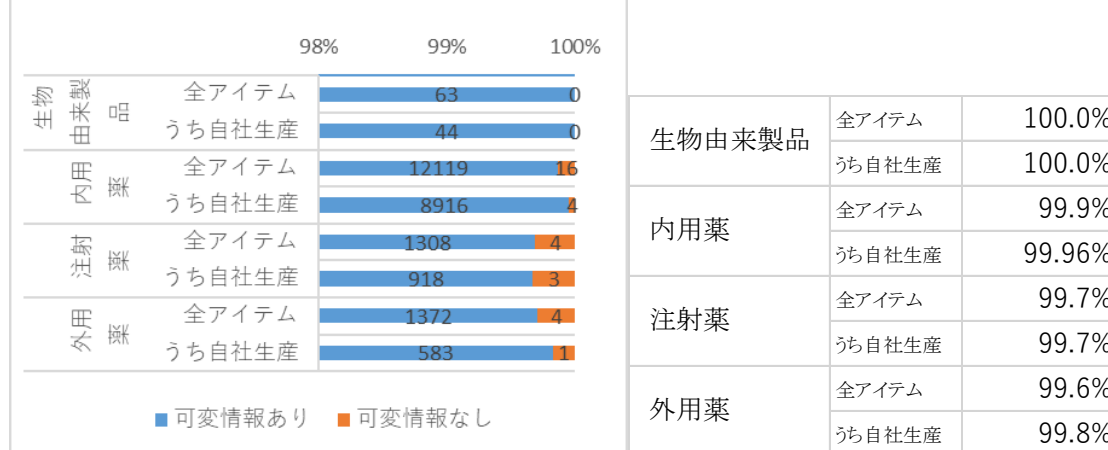


		対応率
生物由来製品	全アイテム	100.0%
	うち自社生産	100.0%
内用薬	全アイテム	98.6%
	うち自社生産	98.7%
注射薬	全アイテム	98.9%
	うち自社生産	99.2%
外用薬	全アイテム	98.8%
	うち自社生産	98.8%

3)元梱包装単位

区 分		アイテム数	新バーコード表示数			
			商品コード	有効期限	製造番号又は製造記号	数量
特定生物由来製品	全アイテム	0	0	0	0	0
	うち自社生産	0	0	0	0	0
生物由来製品 (特定生物由来製品を除く)	全アイテム	63	63	63	63	63
	うち自社生産	44	44	44	44	44
内用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	12,135	12,121	12,119	12,119	11,919
	うち自社生産	8,920	8,916	8,916	8,916	8,916
注射薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,312	1,309	1,308	1,308	1,308
	うち自社生産	921	921	918	918	918
外用薬 (生物由来製品を除く)	全アイテム	1,376	1,373	1,372	1,372	1,372
	うち自社生産	584	583	583	583	583

元梱包装単位（有効期限）



【コメント】

販売包装単位、元梱包装単位への変動情報を含むバーコードの付与状況について「有効期限」について集計した。販売包装単位での付与率は昨年度の同集計よりも進み、内用薬で 98.6%（自社生産品では 98.7%）、注射剤では 98.9%（同 99.2%）、外用剤でも 98.8%（同 98.8%）となった。元梱包装単位ではさらに対応が進んだ。なお、未対応の製品に関しては承認整理を予定しているもの等である。